

第15回 縄文楽検定 上級 解答集

令和5年4月作成

テキストから約69%の出題でした。テキストの略称は以下のとおりです。

テキストⅠ：縄文楽検定テキスト『縄文文化と火焰土器』（信濃川火焰街道連携協議会、平成21年3月刊行）

テキストⅡ：縄文楽検定テキストⅡ『信濃川火焰街道 縄文の旅』（信濃川火焰街道連携協議会、平成23年12月刊行）

『あ、コレ知ってる！』：新潟県立歴史博物館編『あ、これ知ってる！はにわ どぐう かえんどきの昭和平成』（新潟日報事業社、令和元年8月刊行）。

日本遺産ストーリー：『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』ストーリー・構成文化財

日本遺産ガイドブック：『日本遺産「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』ガイドブック

（信濃川火焰街道連携協議会、令和3年度改訂版 ※平成28年度版とは頁数が異なるので注意）

No.	解	問題の出典と解説
1	c	日本遺産ガイドブック・巻末「構成文化財一覧」
2	b	テキスト外 守門岳1,537m、弥彦山634m、権現堂山（上権現堂山997m、下権現堂山896m）、浅草岳1,585mですので、弥彦山が最も低い山となります。
3	a	日本遺産ガイドブック・巻末「構成文化財一覧」
4	c	テキスト外 三条市では八木鼻第1. 第2号岩陰遺跡、長岡市では西倉遺跡ほか、十日町市では田沢遺跡ほか多数あります。新潟市では、まだ出土例がありません。
5	c	日本遺産ガイドブックp15,26,31など
6	b	テキスト外
7	a	テキスト外を含む、参考・引用／『あ、コレ知ってる！～』p137、日本遺産『「なんだ、コレは！」～』ストーリーの構成文化財一覧表 青田遺跡は新発田市の遺跡です。
8	d	テキスト外 笹山遺跡出土火焰型土器は1999年、志賀島出土金印は1954年、袈裟襷文銅鐸は1951年にそれぞれ国宝に指定されています。亀ヶ岡遺跡出土の遮光器土偶は国宝ではなく、重要文化財です。
9	c	テキスト外 令和4年3月13日現在、魚沼市内の遺跡数は292で、このうち縄文時代の遺跡は149となっています。
10	c	テキストⅡ p23、日本遺産ガイドブックp30など
11	b	テキストⅡ p25
12	c	テキストⅠ p33など
13	b	『あ、コレ知ってる！』p52
14	b	日本遺産ガイドブックp9,14,22など
15	c	日本遺産ガイドブック 信濃川火焰街道APp37～など
16	a	テキスト外
17	c	『あ、コレ知ってる！』p71
18	c	テキストⅠ p8など
19	d	『あ、コレ知ってる！』p104
20	b	テキスト外
21		テキストⅠ p2など
		（解答例） 早期中葉から遺跡数が急増し、前期後葉までほぼ安定的に遺跡数は推移します。火焰型土器が生まれ展開する中期前葉から中葉は、劇的に遺跡の数が増加します。それ以降、中期後葉～後期中葉は、段階的に遺跡数が減少します。

22	<p>テキスト I p15など</p> <p>(解答例) 火焰型土器は特異な形態をしていますが、深鉢形土器に大別されます。火焰型土器の保有量が土器総量の1割程度という実態などから、日常的に使われていたというよりも、祭りのような「ハレの儀式」に伴い使用された煮沸用深鉢形土器と推定されています。</p>
23	<p>テキスト I p21～24など</p> <p>(解答例) 火炎土器文化は、火焰型土器や王冠型土器で表象されますが、そのほかにも彫刻を施す石棒や石皿、土偶や三角形土製品、そして三角とう形土製品、身体装飾の一部である滑車形耳飾などが、重要な文化要素です。</p>